

本村小学校



本だより

1月号

発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

11番目の選手

校長 山村 登洋

を意味します。ねずみは子供をたくさん産むため、繁栄の象徴と言

年頭の「ごあいさつ」

令和2年、新しい年がスタートしました。皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年「子年」です。「子年」は十二支の始まりで新たなスタートや生命の芽生え

東京オリンピック

また、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されることもあり、特に港区は活気づくに違いありません。一生に何度

箱根駅伝

かしか経験できない大イベントにも大きな教育的価値を見出し、いきたいと思っています。令和2年度は全児童のオリンピック観戦が決まっています。どの競技が観戦できるか楽しみます。

11番目の選手

今やお正月の風物詩になったと言っても過言ではない「箱根大学駅伝」。皆様もご覧になりましたか。今年も、近年の高速駅伝を2年ぶりに青山学院大学が征し、昨年のリベンジをはたしました。私はテレビで各大学の選手の活躍を見ていましたが、青山学院大学の第4区走者の吉田祐也選手に釘付けになりました。

ねずみ「子年」は凄い!

<子年年表>

- 1960年 カラーテレビ放送開始
- 1972年 冬季札幌オリンピック開催
日中国交回復
沖縄返還
- 1984年 日本のメーカーが世界初のパーソナル電卓を発売
- 1996年 広島原爆ドームが世界遺産に登録
- 2008年 4人の日本人ノーベル賞受賞
- 2020年 東京オリンピック・パラリンピック開催



この1時間のために10年間努力してきた。苦しかった分、箱根駅伝を満喫する」と語っていたそうです。後日、原監督も「2年連続で11番目の控えだった。腐ってもおかしくなかった。よく悔しさを糧にしてくれた」とインタビューに答えています。

の選手に甘んじてきました。現在4年生の吉田選手は、今回の箱根駅伝が最初で最後の試合となりました。そんな初舞台で吉田選手は4区の区間新記録を打ち立てる快走で青山学院大学総合優勝の立役者となったのは皆さんの記憶にも新しいことと思います。吉田選手は走る前に「とにかく走りを楽しむ。感動を得ることができました。

青山学院大学陸上部に入学したときも下から4番目の選手。「自分に何かできるかと言えば努力することしかなくて。」努力を自分のよさとして、その結果、頂点に立った吉田選手に大きな感動を得ることができました。